
赤 潮 情 報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
令和5年6月28日

鹿児島湾 赤潮情報 No.3

[1] 6月28日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡でシャットネラ マリーナを最高1細胞/mL確認しました (St.④, ⑥)
濃縮検鏡でシャットネラ属を確認しました。

(St.③: 0.002細胞/mL, St.⑪: 0.003細胞/mL)

珪藻類はSt.①, ②, ③でやや多く、他は多い状況でした。

(2) 海況

平年値と比べ、表層水温はやや高く湾奥部で25.1~26.9℃、湾中央部で26.3~26.5℃。
塩分はやや高く30.0~31.7、透明度は平年並みで4.0~7.0mとなっています。

水温: 平均 26.1℃ 湾奥部 26.0℃ 湾中央部 26.4℃

塩分: 平均 30.9 湾奥部 30.6 湾中央部 31.7

透明度: 平均 5.1m 湾奥部 4.7m 湾中央部 6.6m

(平年値は平成元年~令和4年の6月下旬の平均値)

【鹿児島県水産技術開発センター調査】

鹿児島湾赤潮調査結果

調査日: 2023. 6. 28 (水) 若潮

天候: 曇り

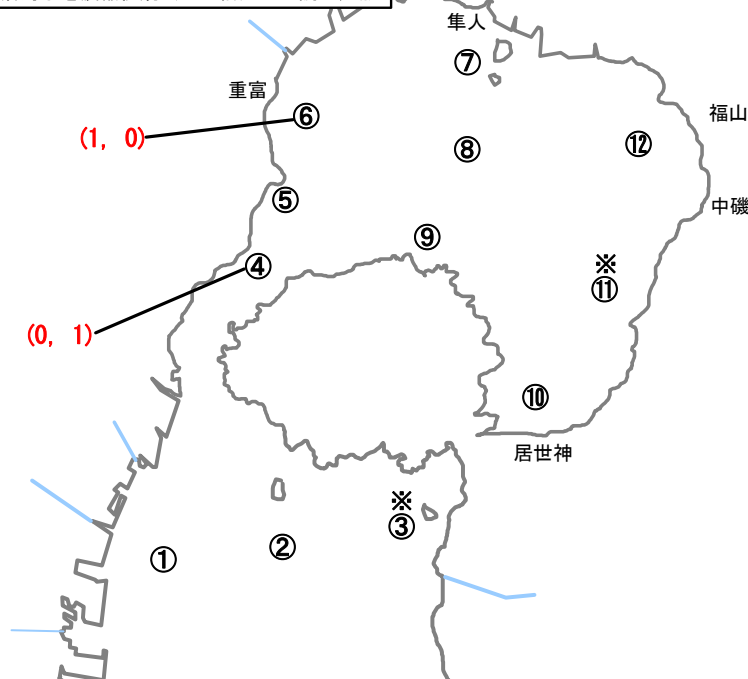
調査時間: 8:07 ~ 12:24

- ・通常検鏡でシャットネラ マリーナを最高1細胞/mL確認 (St. ④, ⑥)
- ・濃縮検鏡でシャットネラ属を確認 (St. ③: 0.002細胞/mL, St. ⑪: 0.003細胞/mL)
- ・珪藻類はSt. ①, ②, ③でやや多く、他は多い。

() 内: 0, 10m層のシャットネラ マリーナの細胞密度 (細胞/mL)

細胞密度の記載のない定点は検出されず。

※は表層海水を濃縮検鏡 (1000倍) した調査定点



・平均表層水温: 平均 26.1℃ (平年比+1.9℃, やや高め) (湾奥26.0℃ 湾央26.4℃)
・平均表層塩分: 平均 30.9 (平年比+1.4, やや高め) (湾奥30.6 湾央31.7)
・平均透明度: 平均 5.1m (平年比+0.3m, 平年並み) (湾奥4.7m 湾央6.6m)
●平年値は平成元年~令和4年の6月下旬の平均値

鹿児島県水産技術開発センター

[2] 今後の赤潮発生の予想
今回の調査で、有害種であるシャットネラ属が確認されています。

水温の上昇に伴い、プランクトンの増殖が活発になる赤潮シーズンに入っており、有害種が増殖する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、注意をお願いします。

(次回調査は7月上旬を予定)

赤潮情報(携帯用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

